

# フォトニュース

## 沖縄の子どもたちと交流

2月1日（金）～3日（日）



夏のサマースクールで境港の5年生の子どもたちが訪問した沖縄県伊平屋村の5年生22人を招いて、ウィンタースクールを開催しました。

大山豪円山でのスキーでは、雪に触れることが初めての伊平屋の子どもたちは最初は戸惑った様子。それでも、午後になると上達してスイスイとすべり、地元境港の子どもたちとともに歓声を上げて、スキーの楽しさを満喫しました。

夜の交流会では、地元小学生の保護者が作った郷土料理「いただき」「ベニズワイガニ」「アジ団子汁」に舌鼓を打ち、ミニコンサートやクイズ・ゲームなどで盛り上がりました。

最終日は、境港の観光スポットである水木しげるロード、水木しげる記念館で妖怪ワールドを堪能しました。

境港の子どもたちや妖怪の着ぐるみに見送られて、境港駅のホームでお別れし、伊平屋の子どもたちとの楽しいひとときは幕を閉じました。

## 妖怪案内看板が登場

1月31日（木）

水木しげるロードに鬼太郎や目玉おやじが描かれた三角柱の案内看板が設置されました。観光案内所や水木しげる記念館などの施設案内のほか、災害が起きた際の最寄りの避難所も明記してあります。

看板は、妖怪神社のさい銭を使い、作られました。初めて訪れる観光客にも分かりやすく、安心して散策できることでしょう。



© 水木プロ



## 園児が4品をクッキング

2月10日（日）

体験型食育事業（新年度実施予定）の研修会が行われ、渡保育所の年長児23人が料理に挑戦しました。

キッズキッチン協会会長の坂本さんの指導の下、全ての調理を子どもが担います。イワシをさばいたり、手のひらで豆腐を切ったりして、イワシのフライ、豆腐のみそ汁など4品を作りました。慎重な手つきで調理を終えた園児は「できた～」と大満足でした。